

山梨県歯科医師連盟**連盟ニュース 第48号**

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手 1-4-1
TEL : 055-252-6481 FAX : 055-253-0854□発行人 諸角三千夫 HP : <http://ydca.jp>

□編集人 諸角三千夫 馬場 康二

山梨県歯科医師連盟機関紙

平成27年度 関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会

この度、8月27日(木)栃木県宇都宮市ホテル東日本宇都宮において、平成27年度関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会が開催され、本県より諸角会長、一瀬副会長、篠原理事長、鶴田副理事長の4名が参加しました。連盟役員協議会は今回栃木県が当番県となり、協議題として山梨県歯科医師連盟諸角会長が提出したテーマ「第24回参議院議員通常選挙について」が採用され、協議されました。

まず、開会次第に従い栃木県連盟副会長の挨拶にはじまり、来賓挨拶として今年度より日本歯科医師連盟新会長に就任した高橋英登会長より、政治資金規正法違反容疑による4月30日の東京地検特捜部の家宅捜査に対するの説明とお詫び、更にお願がありました。その中で会長は、日歯連盟再生12の提言で会員の信頼を取り戻すために一致団結してこの難局を乗り越え、会員の信頼回復を計り連盟活動の在り方を根本的に見直して、来年の参議院選挙を絶対に勝利すると決意を述べました。

次に協議題に対して各都県より発言があり、来年の参議院選挙に組織代表候補者の砂川稔氏を決定しているが、今回の不祥事で後援活動を自粛しています。この影響を最小限に押さえ後援会活動が再開された時のために計画準備しておく事が大事であり、全会員が医療は政治なりを認識し組織代表を国政に送る重要性を確認する必要があるなど意見がありました。

また、来年の参議院選挙より18歳以上に選挙権が与えられ、約240万票の新選挙人が増加する予定でこの機会を捉えて各歯科大学、校友会、同窓会への働きかけを重要な戦略とし、今後の歯科界の将来のため理解と協力をお願いしてもらおう。

最後に、来年の参議院選挙は短期決戦が予想され、選挙運動期間が少ないので困難な状況ではあるが組織代表砂川稔氏の当選に向け必要な事柄を再確認し会議を終了した。

【日本歯科医師連盟より】時局対応(政治資金規正法違反の嫌疑について)へのお願い

平素より、本連盟の会務運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて今般、本連盟が政治資金規正法違反の疑いで、東京地検特捜部の捜査を受けている事態につきましては、貴職はじめ会員各位に多大なるご心配やご迷惑をお掛けしておりますことを、改めて心よりお詫び申し上げます。

本連盟では引き続き、捜査当局の事件の早期解明と収束に向け、捜査に全面的に協力しております。しかしながら、本事件の進捗については、文書等において会員各位に十分にご理解をいただけるようご説明をすることが、極めて困難な状況で推移していることを大変心苦しく思う次第であります。

このような状況下、捜査が完全に終結した際には、改めて今般の事態に係る詳細な報告を行う予定ではあります。取り急ぎ、捜査に支障のない範囲で現状の説明を行い、会員への正確な情報伝達が急務と考えます。

つきましては、小職はじめ本連盟役員が可能な限り全国の歯科医師連盟を訪問し、貴連盟役員そして会員の皆様にお詫び方々説明をさせていただく機会を設けていただければ幸甚に存じます。

(平成27年8月7日 日本歯科医師連盟会長 高橋 英登)

日歯連盟再生12の提言 ～会員の信頼を取り戻すために～

(平成27年8月27日 日本歯科医師連盟会長 高橋 英登)

- ① 今回の捜査に関し、再発防止のために徹底的な原因究明、調査・検証
- ② 「連盟」の存在意義の再検証と会員への連盟活動の必要性の周知
- ③ 「連盟」は会員のための組織であることの周知徹底と、入会促進、組織増強推進
- ④ 透明で分かりやすい会計システムの構築
- ⑤ 活動費交付増額による各都道府県歯科医師連盟活動への支援強化
- ⑥ 参議院組織代表議員との徹底した連携強化
- ⑦ 次代を担う人材育成システムの構築
- ⑧ 国民歯科医療に理解ある議員の拡充及び連携強化
- ⑨ 唯一会員との接点である日歯連盟広報の紙面一新
- ⑩ 事務職員の帰属意識向上及びスキルアップ研修の実施
- ⑪ 中長期的な歯科のあり方と連盟としての立場の研究
- ⑫ 参議院組織代表選挙等を行っている他組織の情報収集と調査研究